

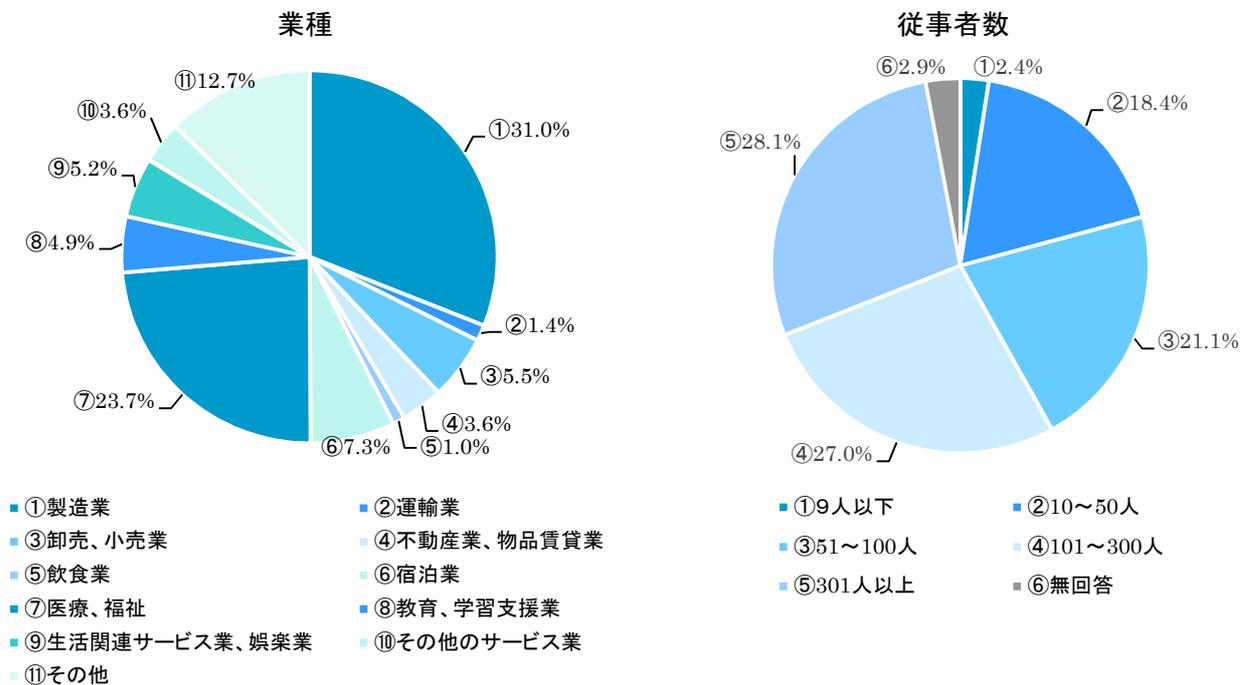
「令和4年度神奈川県営水道についての事業所調査」の結果（速報）

【調査の概要】

・調査対象・期間等

項目	事業所調査
調査対象	県営水道給水区域内所在の年間使用水量等が 10,000 m ³ 以上の全事業所（854 事業所）
調査期間（延長後）	令和4年7月1日～7月15日（7月29日）
有効回答数 (有効回答率)	577 (67.6%)

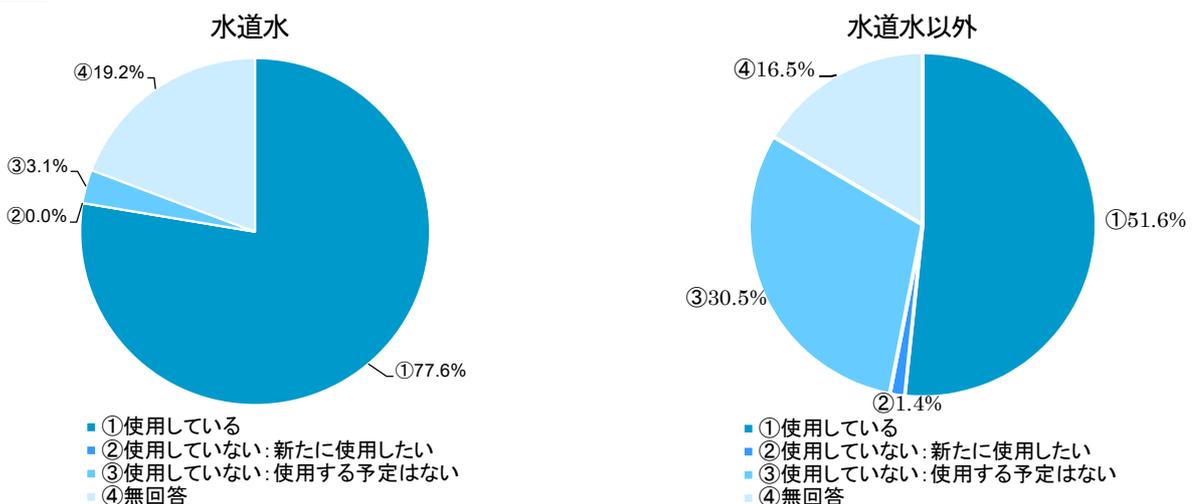
・回答者の特徴



I. 水の使用状況等

(1) 水道水等の使用状況及び今後の動向

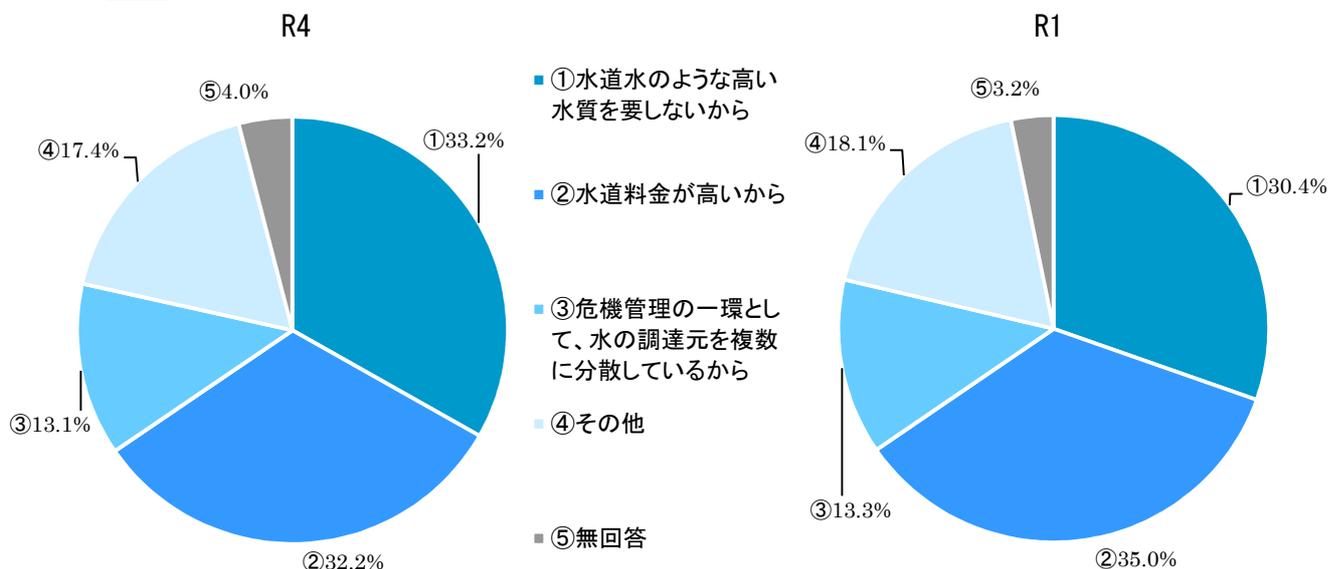
設問 あなたの事業所では、水道水や水道水以外の水（地下水、再生水等）を使用していますか。



(2) 水道水以外の使用状況の理由 ((1)で「水道水以外を使用している」と回答した者)

事業所の約3割が「水道水のような高い水質を要しないから」「水道料金が高いから」と回答している。R1の調査時と比較すると「水道料金が高いから」と回答している割合は、2.8ポイント減少した。

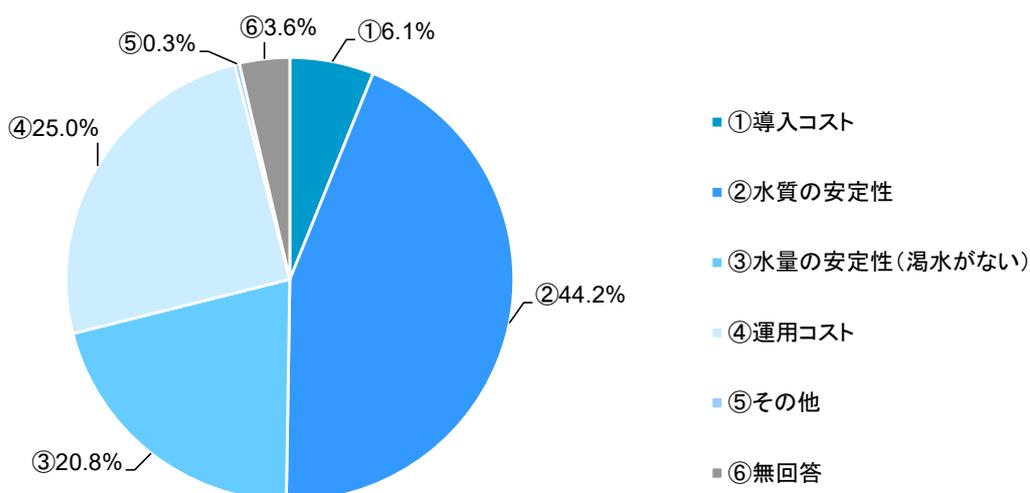
設問 水道水以外の水を使用しているのはどうしてですか。



(3) 水使用で一番考慮すること

事業所の約4割が「水質の安定性」を最も考慮すると回答している。

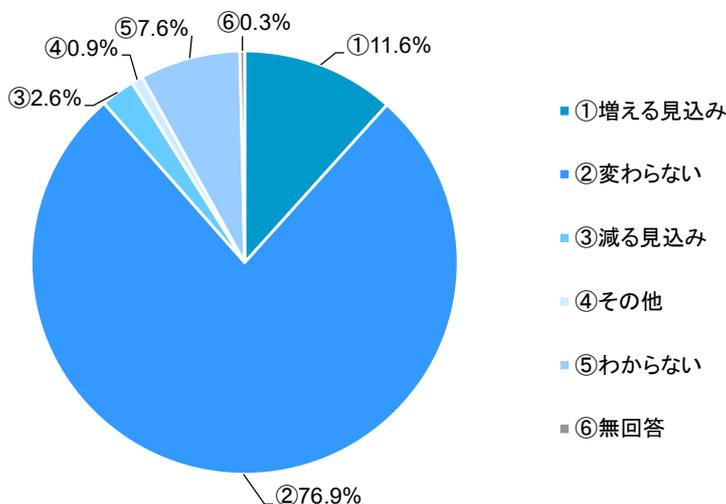
設問 水を使用するにあたり、一番考慮することは何ですか。



(4) 今後の水道水の使用量

事業所の約8割が「変わらない」と回答している。一方で、約1割が「増える見込み」と回答している。

設問 今後、水道水の使用量の変化について、どのように見込んでいますか。

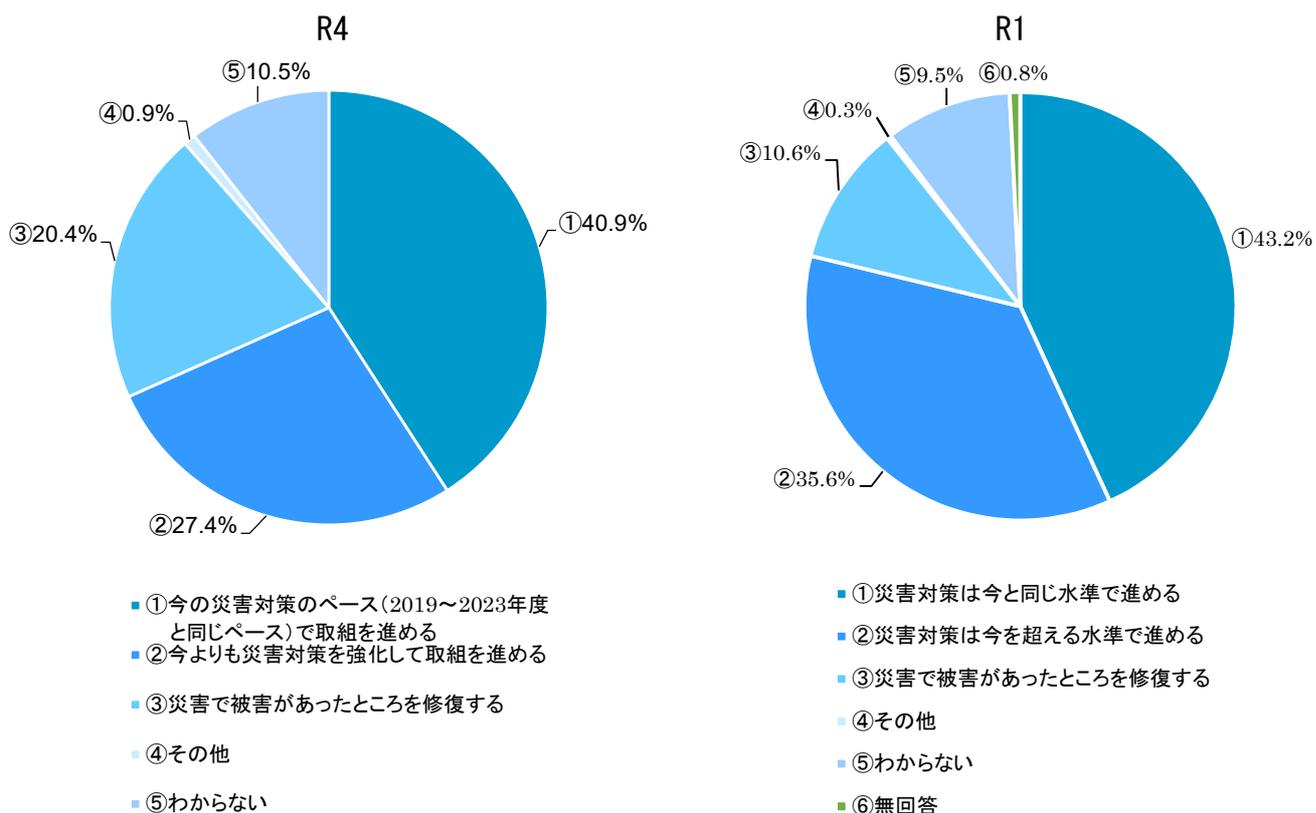


II. 県営水道の事業について

(1) 災害対策の進め方についての意識

R1 の調査時と比較して減少したものの、事業所の約7割が「今のペース（今と同じ）」又は「今よりも強化して（今を超える水準で）」災害対策を進めると回答している。

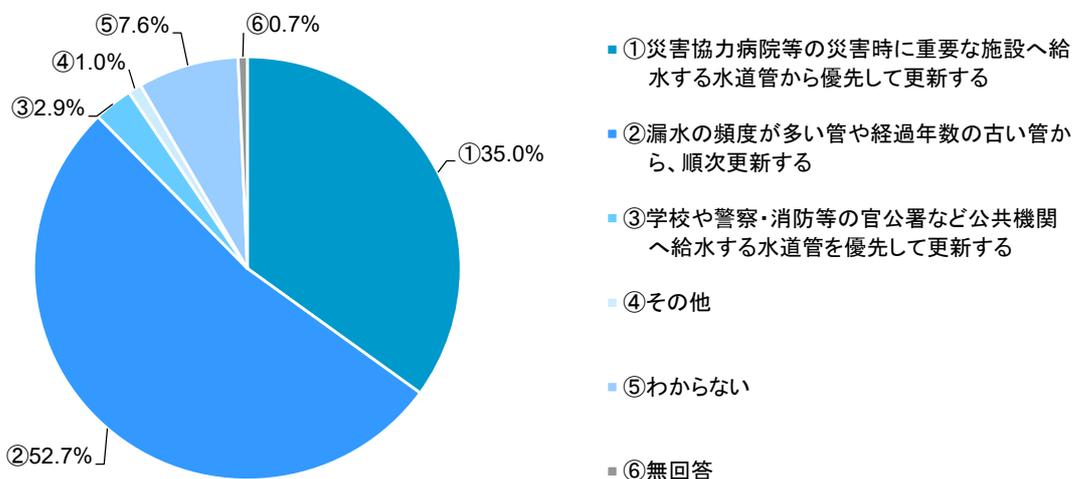
設問 今後の災害対策の進め方についてどう思いますか。



(2) 水道管の更新の取組についての意識

事業所の半数が「漏水の頻度が多い管や経過年数の古い管から、順次更新する」と回答しており、約3割が「災害協力病院等の災害時に重要な施設へ給水する水道管から優先して更新する」と回答している。

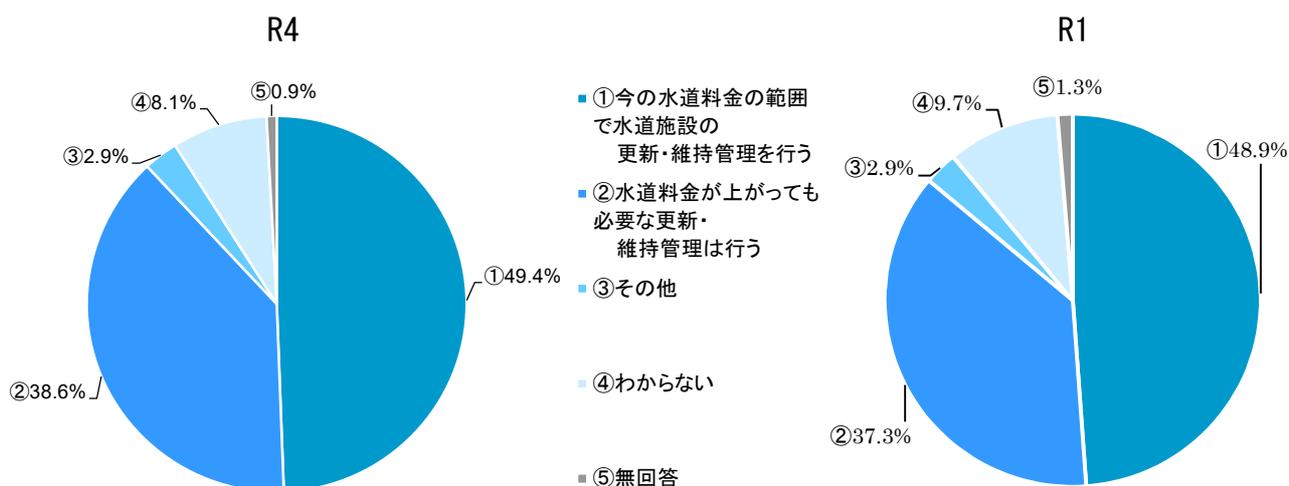
設問 管路更新の優先順位についてどう思いますか。



(3) 今後の水道施設の更新及び維持管理についての意識

事業所の約5割が「今の水道料金の範囲で水道施設の更新・維持管理を行う」と回答しているが、一方で、約4割が「水道料金が上がっても必要な更新・維持管理を行う」と回答している。また、どちらもR1の調査時より少し割合が増加した。

設問 今後の県営水道の水道施設の更新及び維持管理についてどう思いますか。

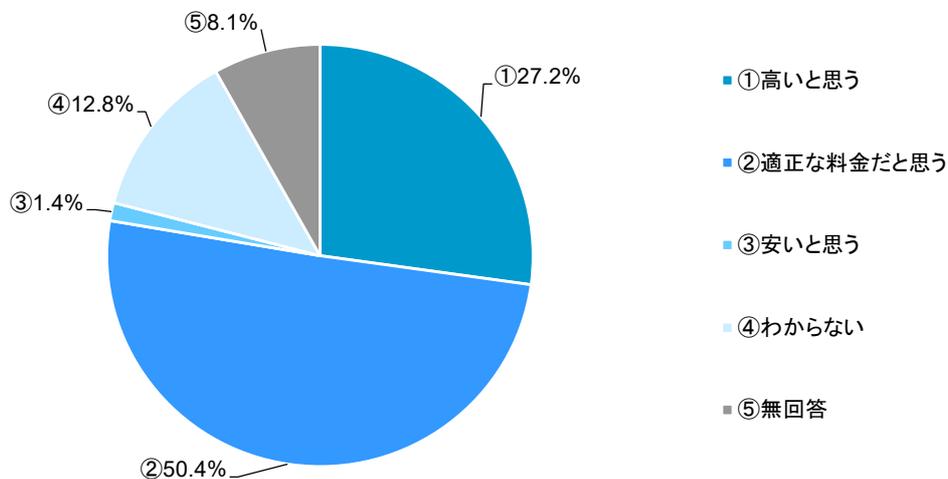


Ⅲ. 県営水道の上水道料金について

(1) 上水道料金について

事業所の約5割が「適正な料金だと思う」と回答している。

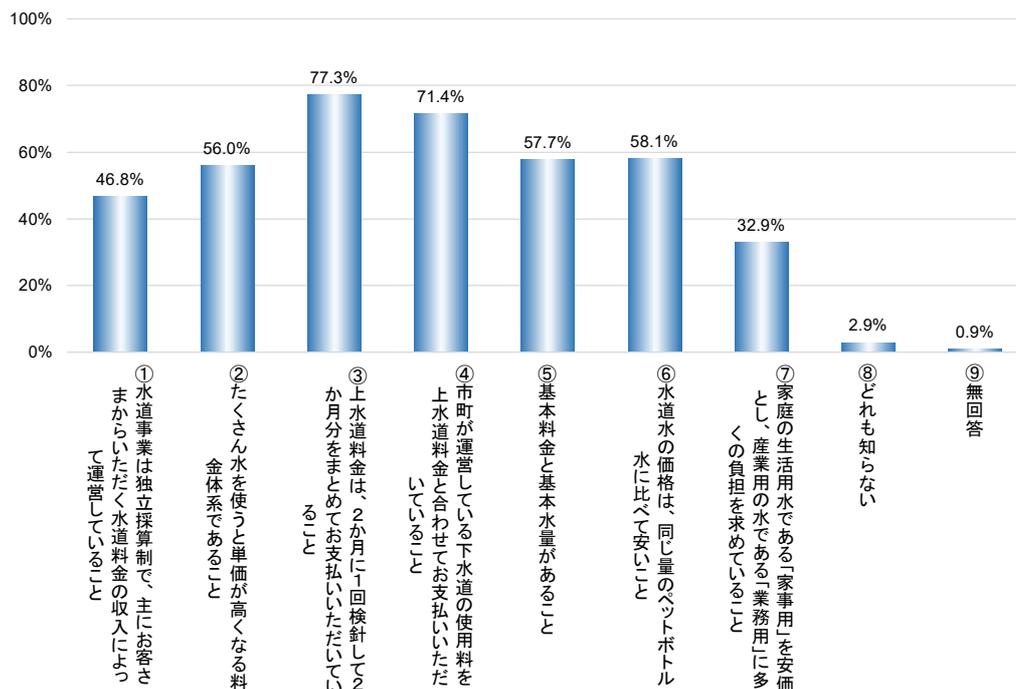
設問 現在お支払いいただいている上水道料金についてどう思いますか。



(2) 水道料金についての知識（複数回答）

事業者の約3割が「家事用を安価とし、業務用に多くの負担を求めていること」を知っていると回答しており、その他の項目についてはすべて5割以上が知っているという回答している。

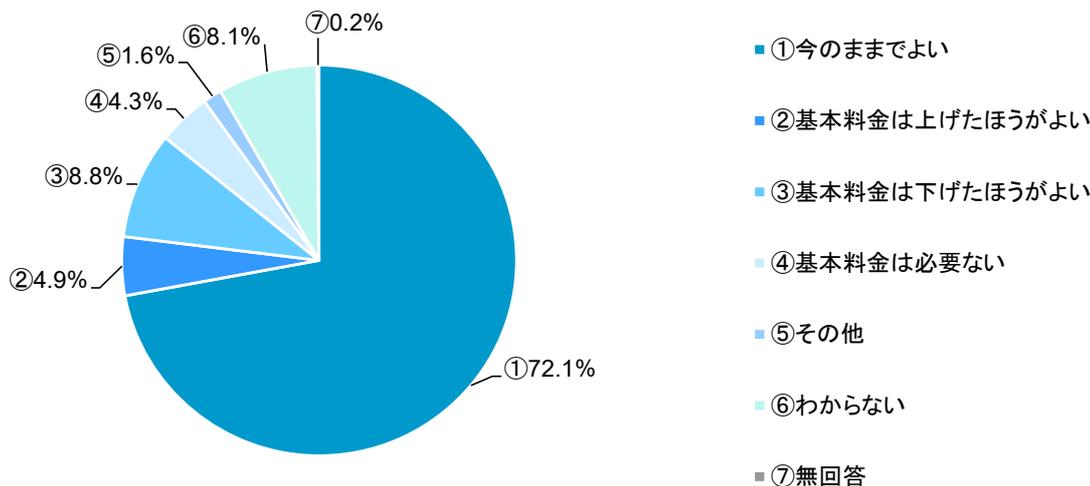
設問 上水道料金について、あなたが知っていることはどれですか。



(3) 基本料金についての意識

事業者の約7割が「今のままでよい」と回答しており、次に約1割が「下げたほうがよい」と回答している。

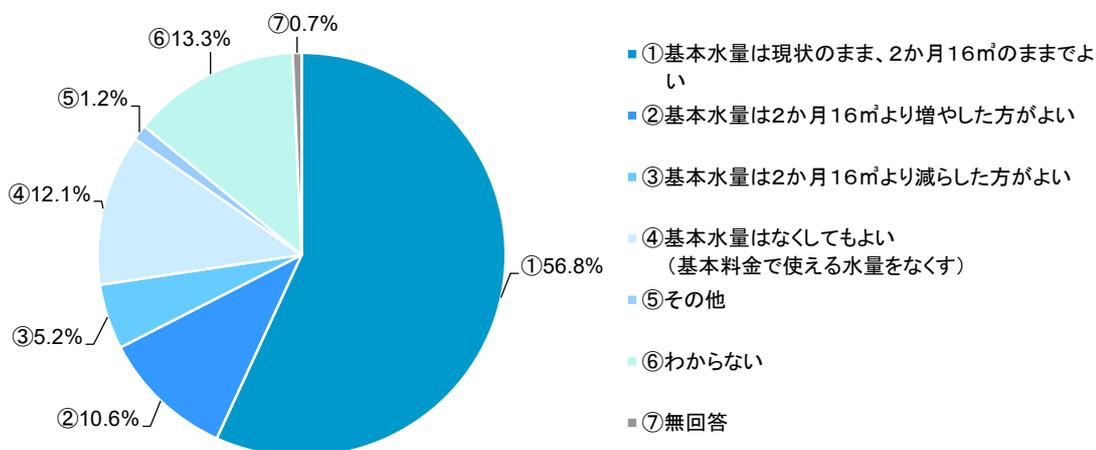
設問 県営水道では、水道をお使いいただくための必要な費用をまかなうために、使用量に関係なく基本料金として2か月分で一律1,420円(税抜き)をお支払いいただいています。この基本料金についてどう思いますか。



(4) 基本水量についての意識

事業者の5割以上が「現状のままでよい」と回答し、一方で、それぞれ約1割の事業所が「増やした方がよい」「基本水量はなくしてもよい」「わからない」と回答している。

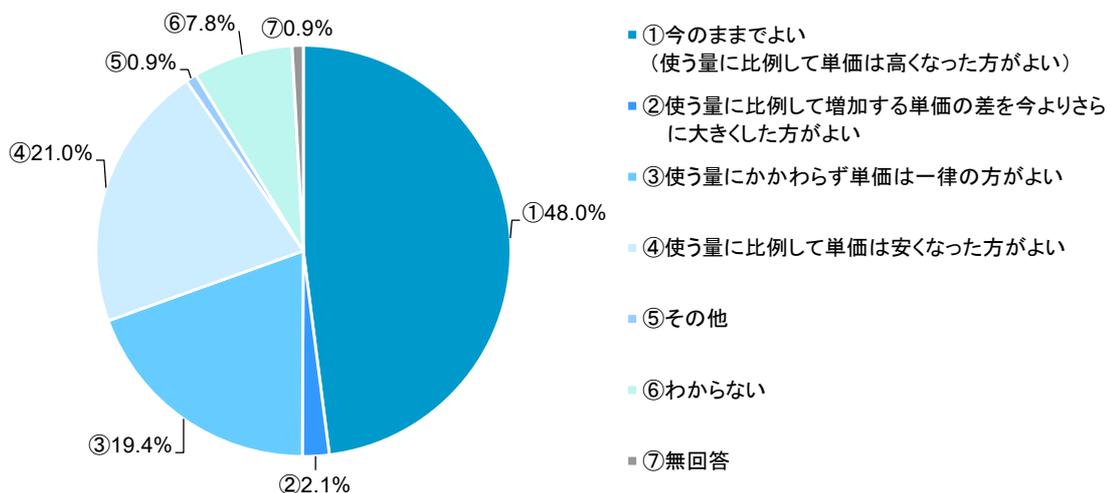
設問 県営水道では、水道使用量が2か月で16 m³以下であれば、水道料金が変わらないという基本水量についてどう思いますか。



(5) 従量料金についての意識

事業所の約5割が「今のままでよい」と回答しており、それぞれ約2割の事業所が「単価は一律がよい」「安くなった方がよい」と回答している。

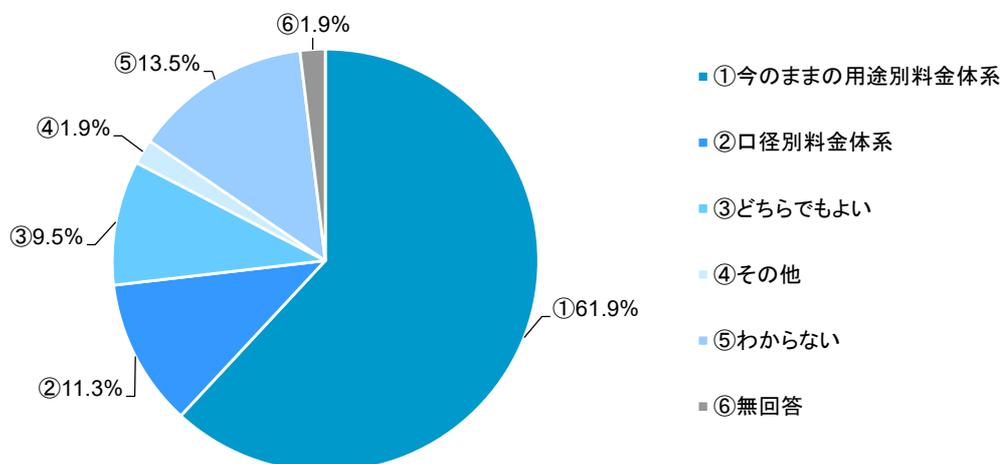
設問 基本水量の2か月16 m³を超えると、1 m³ごとに料金（従量料金）が加算されます。また、使用する量が多くなるほど1 m³あたりの単価が高くなります。この従量料金についてどう思いますか。



(6) 料金体系のあり方

事業所の約6割が「今のままでよい」と回答しているが、一方で、11.3%が「口径別料金体系がよい」と回答している。

設問 現在、神奈川県営水道事業審議会において、水の供給により受けるサービスの量と、そのサービス提供に見合う費用負担の観点から、料金体系のあり方を議論しています。料金体系について、どう考えますか。

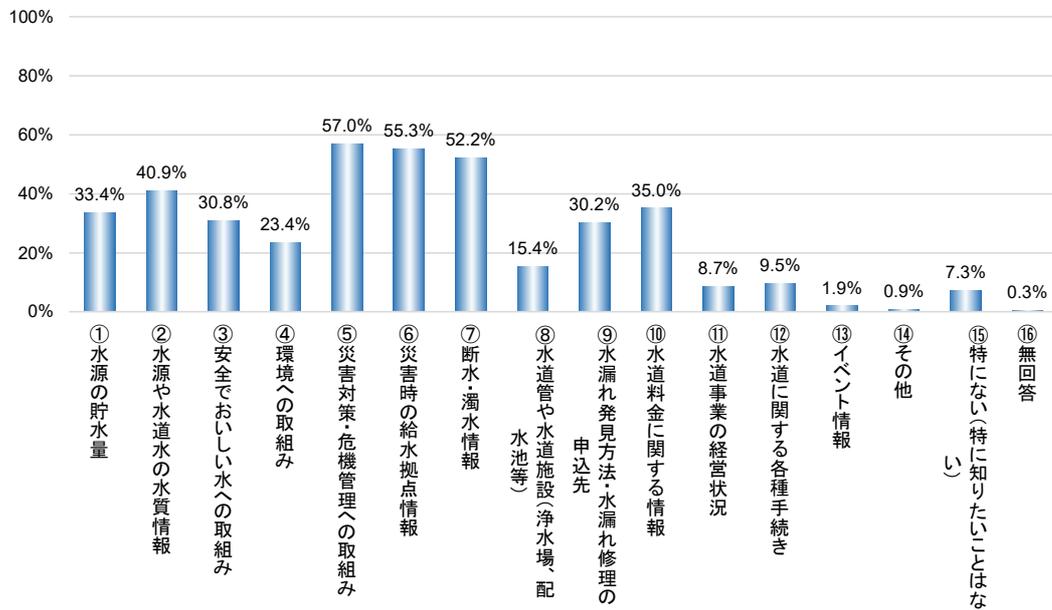


IV. 県営水道の広報活動等について

(1) 県営水道について知りたい情報（複数回答）

事業所の5割以上が災害関連の情報を知りたい情報と回答している。

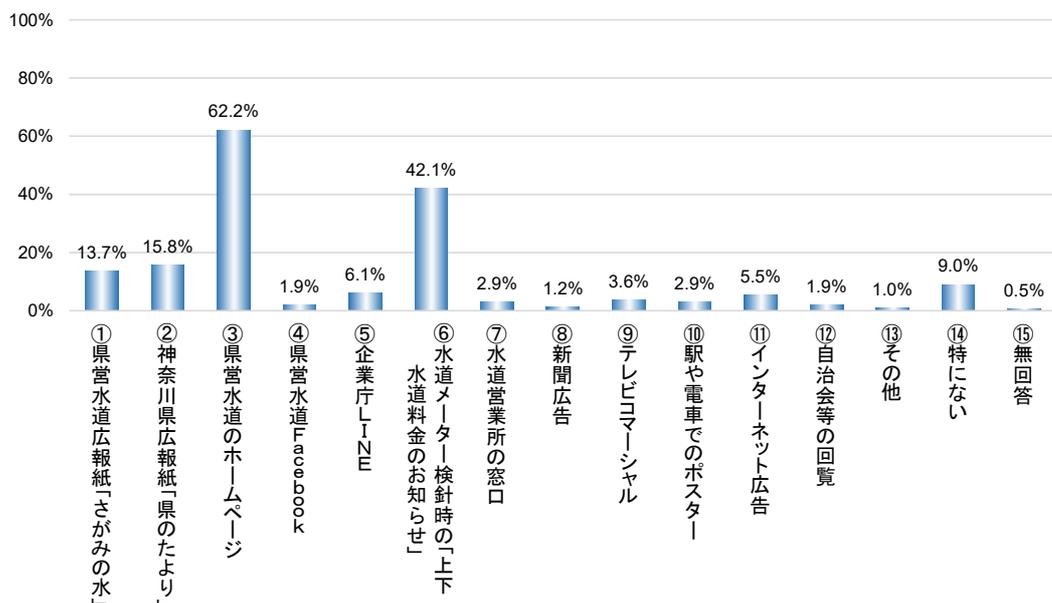
設問 あなたが県営水道に関して知りたい情報は次のどれですか。



(2) 県営水道に関する情報を知る手段（複数回答）

事業所の約6割が「県営水道のホームページ」と回答し、次に約4割の事業所が「上下水道料金のお知らせ」から情報を得ていると回答している。

設問 あなたは県営水道に関する情報を何によって知りたいですか。



(3) 県営水道が行っている事業について（各項目につき単一回答）

事業所の7割以上が、「積極的な広報と情報提供」以外の全項目について重要である（「とても重要である」又は「やや重要である」）と回答している。

特に、「災害に強い水道づくり」「老朽化した水道管の更新」について95%以上の事業所が重要であると回答している。

設問 県営水道が行っている事業等についてどう思いますか。

